

第3期統合仮想基盤構築業務評価基準

(1)評価項目及び評価基準

分類	項目 NO	評価項目	提案内容	配点 係数	審査点	評価点 (配点係数×審査点)		評価の基準
等事 業の 業 評 者	1	事業者規模、構築実績	・事業者の概要について ・構築実績について	1	0～5	満点	5	・事象者規模はどの程度か ・同様案件の実績はどの程度あるか
	2	仮想化ソフトウェア	・製品の概要、特徴、機能について ・管理コンソールの操作性等について ・バージョンアップ方法、適用時期について	4	0～5	満点	20	・信頼、実績のある製品が選定されているか ・運用管理しやすい製品であるか ・バージョンアップ等に係る職員の運用負荷や業務への影響はどの程度か
	3	物理サーバ構成	・メーカー、機器、台数、性能等について ・耐障害性について(冗長化等)	3	0～5	満点	15	・信頼、実績のある製品またはサービスが選定されているか ・十分な性能の得られる構成となっているか ・安定的な運用が可能であるか
	4	ネットワーク構成	・概要(構成図等)について ・ネットワーク機器について(台数、機種、性能等) ・ロードバランサ、ファイアウォールについて(台数、機種、性能等) ・データセンター接続回線について ・耐障害性について(冗長化等)	3	0～5	満点	15	・信頼、実績のある製品が選定されているか ・十分な通信速度の得られる構成となっているか ・安定的な運用が可能であるか ・障害対策がどの程度考慮されているか
	5	ストレージ構成	・メーカー、機器、性能(IOPS等)、RAID構成、容量等について ・ストレージサービスの種類、ボリュームタイプ、容量等について(クラウドの場合)	3	0～5	満点	15	・信頼、実績のある製品またはサービスが選定されているか ・十分な性能の得られる構成となっているか ・十分な容量が確保されているか ・用途に応じた種類やRAID構成になっているか
	6	バックアップ	・バックアップ方法、製品概要等について	2	0～5	満点	10	・信頼、実績のある製品またはサービスが選定されているか ・運用管理しやすい製品であるか ・迅速な業務復旧が可能なバックアップ方式となっているか
	7	データセンター・クラウド	・利用実績 ・ファシリティ基準(ティア等)について(セキュリティ対策、耐障害、耐災害性等) ・SLAについて(クラウドの場合)	3	0～5	満点	15	・データセンターの利用実績について ・どの程度の安全性、信頼性であるか ・SLAの設定値は許容範囲か
作 業 体 制 等	8	構築体制	・体制(各役割)、人数について ・プロジェクトマネージャーの実績、保有資格、スキルについて ・構築要員の実績、保有資格、スキルについて	1	0～5	満点	5	・業務実施に十分な体制であるか ・本構築業務に適した実績、資格、スキルを有しているか
	9	作業計画	・全体スケジュール及び各工程の作業計画について ・スケジュール管理方法について ・作業進捗に遅れが生じた場合の対応方法について	1	0～5	満点	5	・作業計画が体系的に整理されているか ・期限までに完了できるか
移 行 作 業	10	移行計画	・移行スケジュールについて ・作業工程(検証、設計、試験等)について ・作業分担について	2	0～5	満点	10	・移行計画は適切か、期限までに完了可能か ・作業工程が体系的に整理されているか ・本市の作業割合はどの程度か
	11	移行方法	・移行方法について(使用ツール、リハーサルの実施方法等) ・移行の確認、検証方法について ・移行が失敗した場合の切り展しの可否について ・現環境の仮想サーバやネットワークへの影響について ・既存仮想基盤事業者の設定変更や支援が必要な場合はその内容について	4	0～5	満点	20	・安全、確実な移行が行えるか ・移行作業時の業務影響はどの程度か ・既存仮想基盤事業者の設定変更や支援をどの程度必要とするか
保 守	12	保守体制	・受付窓口の人員について ・障害連絡等の各担当への連携フロー等について ・受付可能手段・時間について ・監視する対象及び方法について ・障害の予兆の検知や未然防止策等について ・障害発生時の対応や、重大なアラートのみ本市に連携する方法について ・仮想サーバで稼働中の業務システムとの障害切り分け方法について	4	0～5	満点	20	・迅速かつ適切にサポートできる体制は整っているか ・障害発生時の職員側に必要な役割や作業について負担軽減はあるか
運 用	13	運用管理	・運用上必要となる作業について ・本市と事業者の役割分担について	4	0～5	満点	20	・本市職員と事業者の役割分担について明確となっているか ・本市職員の負担はどの程度か
セ キ ュ リ ティ	14	セキュリティ対策	・事業者のセキュリティ認証(ISMS等)の取得状況や外部監査の実施状況等について ・従業員へのセキュリティ教育の実施状況 ・作業場所の安全確保について ・再委託先の安全確認について	2	0～5	満点	10	セキュリティの安全性はどの程度か
追 加 提 案	15	その他追加提案	要件確認にはない拡張、付加機能等のその他提案について(任意提案)	3	0～5	満点	15	本市にとってどの程度有益な提案であるか
見 積 価 格 の 評 価	16	ライフサイクルコスト		—	—	満点	100	・ライフサイクルコスト表に記載されている総額の費用に対して評価点を与える。 ・下記の計算式により評価点を算出するものとする。 (式中の金額は全て税込み) 【計算式】 価格評価点 = 100点 × (「最低見積価格」/「見積価格」) (小数点以下第二位は四捨五入)
合計				—	—	満点	300	

(2)審査点の目安

審査点	審査点の目安
5	非常に優れている
4	優れている
3	標準的である
2	やや劣る
1	劣る
0	評価できない